

# 古河公方 ゆかりの地



茨城県

古河市

古河市は、茨城県の最西端、関東平野のほぼ中央に位置し、西には利根、渡良瀬の大河が流れ、北西部には広大な渡良瀬遊水地が広がる自然豊かなまちです。現在は首都60km圏という恵まれた立地条件を生かし、茨城県西地区の中核都市として発展しています。歴史的には、古くは万葉集にも登場、河川交通の要所として、江戸時代には譜代大名の城下町、日光街道の宿場町として栄えてきました。足利氏とのつながりも深く、中世東国社会の政治文化において重要な位置を占めてきた古河公方の拠点として知られています。

古河公方の起こりは、1388年京都に幕府を開いた将

軍足利尊氏が関東地方を治めるために子の基氏を鎌倉府の長官である鎌倉公方として派遣しましたが、その後、鎌倉公方4代持氏が京都の將軍家と対立、1439年6代將軍義教と一戦を交え、その結果、鎌倉公方は破れ、持氏は自害させられました。その後、生き残った持氏の子成氏が許されて鎌倉公方に就任しましたが、再び幕府に反旗を翻し、1455年鎌倉から古河の地に



古河公方ゆかりの徳源院跡



1500本の「はなもも」が咲く古河公方公園(古河総合公園)

に座を移したことにより、爾来120年余りにわたって古河公方と称し、東国一円の重要な位置を占めてきましたが、現在も公方ゆかりの社寺や史跡が残っており、特に古河公方足利氏の古河城の別館であった「公方館跡」や古河公方開基の「徳源院跡」一帯は、「古河公方公園(古河総合公園)」として、自然や史跡探訪の地となっております。市民に親しまれています。

会員：古河市、古河商工会議所、古河市観光協会

■行事

- 8月上旬 古河花火大会
- 8月中旬 古河盆踊り大会
- 10月27日～11月23日 古河菊まつり
- 12月上旬 古河堤灯竿もみまつり
- 1月中旬 古河七福神めぐり
- 3月下旬～4月上旬 古河桃まつり

● こがなび

<http://www.kogakanke.jp>



栃木県

野木町

栃木県の最南端に位置する野木町は、栃木県の南の玄関口として、J・R宇都宮線や国道4号線により、首都東京へ約60km、宇都宮へ約40kmで結ばれた首都圏に位置します。地形は平坦で、気候は温暖、地味も肥沃と、気候風土ともに恵まれ、米・麦・果樹・施設園芸などの農業が盛んです。